

年 組 名前：

DX「人材いない」55%

9月調査 実践企業は1割

デジタル技術で暮らしや産業を変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」について、帝国データバンク甲府支店が実施した調査で、「言葉の意味を理解し、取り組んでいる」と回答した県内企業は昨年12月の前回調査比3・4割減の10・6%だった。DXに取り組む上での課題は「対応できる人材がいらない」が半数以上を占めた。支店は「エネルギー価格や物価の高騰で企業経営は厳しさを増す中で、DXに人材を割けない企業もある」としている。

9月15～30日に県内2552社を対象に調査し、113社(44・8%)から回答を得た。DXへの理解や取り組みを尋ねたところ、「言葉の意味を理解し、取り組んでいる」は全国平均(15・5%)を下り、全国42位だった。「言葉の意味を理解し、取り組むたいと思っている」は前回調査比4・0割減の23・0%、「言葉の意味を理解しているが取り組んでいない」が10・9割増の38・9%、「言葉の意味を理解し、取り組んでいない」が11・5%、「言葉も知らない」が8・0%、「言葉の意味を知らない」が8・0%だった。

「言葉の意味を理解し、取り組んでいる」企業を業別に見ると、サービスが20・8%で最高。続いて製造が8・1%、建設が6・7%、卸売が4・5%だった。小売と運輸・倉庫で「言葉の意味を理解し、取り組んでいる」と回答した企業はなかった。

DXに取り組む上での課題(複数回答)は、「対応できる人材がいらない」が55・8%、「対応する時間が確保できない」が49・6%、「必要なスキルやノウハウがない」が46・9%、「対応する費用が確保できない」が31・0%などだった。

支店は「DXを取り入れることで省力化などが図れ、人材不足を解消できるケースもある。政府がDXを推進していることもあり、今後DXの取り組みは県内でも広がっていく」としている。

〈山本昂輝〉

問1 DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、何で何をどうすることですか。

・何で:

・何を:

・どうする:

DXに取り組む上での課題(複数回答)は、「対応できる人材がいらない」が55・8%、「対応する時間が確保できない」が49・6%、「必要なスキルやノウハウがない」が46・9%、「対応する費用が確保できない」が31・0%などだった。

支店は「DXを取り入れることで省力化などが図れ、人材不足を解消できるケースもある。政府がDXを推進していることもあり、今後DXの取り組みは県内でも広がっていく」としている。

(2022年11月25日付 山梨日日新聞7面)

問2

次のアンケート結果を、回答数の多い順に1から5の番号付けをしてください。

- [] 言葉の意味を理解し、取り組んでいる
- [] 言葉の意味を理解し、取り組むたいと思っている
- [] 言葉の意味を理解しているが、取り組んでいない
- [] 言葉は知っているが、意味を理解できない
- [] 言葉も知らない

問3

DX を取り入れることのメリットを教えてください。

.....